

被覆石の設置 2


平成20年11月11日 午前 天気：曇り



埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名:被覆工	



護岸概成後に行われている被覆石の設置作業ですが、今回は捨石マウンド上からクローズアップしてご紹介します。
まず被覆石の大きさですが、捨石が30～200kgであるのに対し、被覆石は1トンもあります。写真は捨石の上に被覆石が乗っている状況です。
(大きさが分かるように携帯電話を置いてみました)

 前回の被覆石の設置については[コチラ](#)をクリック



左の写真は被覆石設置の検査状況です。設置された被覆石が綺麗に並べられているかの確認です。海上部については、捨石マウンド上から確認できますが、海中部については潜水土が潜り、確認します。

また、傾斜の確認のため潜水土船から標尺を使い、捨石マウンド上で数値を読み取ります。検査は潜水土、潜水土船、計測者が1組になって行われます。



検査で合格するには、海上部については、バックホウでの作業が可能ですが、水中部については、潜水土が潜り、被覆石を一つずつ並べていきます。

そうした作業の末、被覆石が綺麗に仕上がっていきます。

11月中旬ですが、現場では冷たい風が吹いていました。これから本格的な冬を迎えますが、被覆石の設置作業は今後続きます。